

## 令和6・7年度 第6回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

日 時：令和7年10月24日（金）13時30分～15時10分

会 場：高津市民館 12階 第5会議室

出席者：角田会長、下尾副部会長、大野委員、川口委員、志水委員、仙北谷委員

事務局：岡部担当課長、水野担当係長、檀高津市民館館長、渡部プラザ橘館長、一井高津市民館副館長、植松社会教育振興事業担当責任者、三枝職員、

傍聴者：1名

### 1 開 会

- ・議題について、公開の旨を説明。
- ・開催要件が満たされたことを確認。
- ・資料確認
  - ① 令和6・7年度 第6回社会教育委員会議高津市民館専門部会 次第
  - ② 令和6・7年度 第5回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録（資料1）
  - ③ 高津市民館・橘分館の施設について（資料2）
  - ④ 令和7年度高津市民館・橘分館事業について（資料3）
  - ⑤ 広報について（資料4）

### 2 担当課長挨拶

岡部担当課長より挨拶

### 3 部会長挨拶

角田部会長より挨拶

### 4 自己紹介

各委員及び事務局から挨拶

### 5 議事事項

#### （1）第5回専門部会摘録（案）について (資料1)

資料1を確認、修正等はなし。

#### （2）高津市民館・橘分館の施設について (資料2)

「1. 高津市民館改修工事予定」、「2. 高津市民館マイナンバーカードセンター設置」、「4. 橘分館エレベータ更新工事について」を水野担当係長から、「3. 橘分館受電設備事故について」を渡部館長から資料2をもとに説明を行った。

質問はなし。

#### （3）令和7年度高津市民館・橘分館事業について (資料3)

議事の都合上、「（4）広報について」を先に行った。記録は次第の順とする。

檀館長及び渡部館長から資料3をもとに説明を行った。

Q：チラシを見るとこれまでと雰囲気が変わった。刷新感、新しさを感じた。（角田委員）

Q：中高生が主催する側になる、中高生が講師になって小学生に話す、学校と協

力する等ができると地域が良くなると思う。(川口委員)

A：まずは中高生に市民館に来てもらい、さらに事業等に参加してもらえるといい。

A：地域教育会議で小中高の校長先生からお話を聞く機会があったが、子どもたちはSNSでのつながりはあっても現実の大人とのつながりが少ないと聞いた。その際、高校の校長先生は高校生が企画することに前向きだったので、今後機会があれば一緒に何かできるとよいと思う。

Q：地域教育会議のメンバーには学校の先生、こども会議の代表などいらっしゃる。コロナ禍では学校に入りにくかった学校の様子について、地域教育会議でお話いただきとても良い会となった。(角田委員)

Q：中学校で長年部活指導をしているが、子どもたちの様子は変化しており、コミュニケーションの必要性を感じる。年配の方、赤ちゃん連れ、学生等、様々な方が一緒に何かできるとよい。講師から話を聞くのもよいが、できれば聴くだけではなく実行できるとよい。お互いそうなのよねと話せる場所があるとよい。また、ネイチャーゲームは自然と親しむもので、赤ちゃんから楽しめるので良いと思う。特に、橘分館の近くには健康の森があり協力できる方々は多いので検討してみてほしい。(大野委員)

Q：指定管理に移行した後、利用者からどのような声があって、どのような対応をしてきたか。(仙北谷委員)

A：利用者懇談会（ファンミーティング）で総括したいと思っているが、高津市民館については、利用料金の前納に対して厳しい意見がある。また築30年を経過し備品等が古いことやWi-Fi環境が整っていないことへの意見がある。部屋の利用者には毎回アンケートを実施していて集計すると、8割は感謝で他は空調とWi-Fiへの意見がある。指摘や要望も稀にある。可能なことはその都度解決している。

橘は図書館の開館時間が早くなかったことは好評で来館者が1割増えている。保育園に送った後や、店の開店前に寄ることができるという声がある。利用率は前年度とほぼ同じくらい。集計がまとまっているが、スタッフの接遇は満足いただいていると思う。大きなクレームはない。これからアンケートを集計し、利用者懇談会で意見をいただき来年度に向けて改善したい。

檀館長から、「R7年度利用者モニタリング調査および懇談会の実施について」資料に基づき説明した。

Q：非常にすばらしい企画だと思う。成果があることを期待している。(仙北谷委員)

Q：申込者が少なかった場合でも実施するのか。(志水委員)

A：申込者が少なかった場合は、館から利用者に声掛けして参加をお願いする。専門部会の委員で希望があれば当日席を用意するので、次回専門部会の12月12日でも構わないので申し出てほしい。

Q：どのくらいの方に参加してもらえるか。モニタリング調査と併せて懇談会の実施をよろしくお願いしたい。(角田委員)

A：初年度なのでわからないが、この形で実施してみて次年度以降は課題を含めて柔軟に対応したい。

(4) 広報について (資料4)

水野係長から資料4をもとに説明を行った。

Q：絵が多くて、とてもわかりやすくなつた。保護者の方には二次元コード等で申込方法など詳細な情報をご覧いただける。当事者が見て参加したいと思えるようなわかりやすいチラシになったと思う。（下尾委員）

Q：AIを活用したことは良いと思う。外国籍の方は主語を省略する等の口語表現はわかりにくくて、「～は～です。」と主語と述語を使った正しい文法で表現した方がわかりやすい。知的障害がある方も配慮が必要かもしれない。シンプルなわかりやすい表現がよいが、AIは対応できない。「正しい」文法と条件に入れてもAIは理解できない。（川口委員）

A：今回、知的障害のある方に向けたチラシはAIだけでは作成できなくて、シンプルな表現、レイアウトの整理、イラスト活用など人がチェックした上で作成した。

Q：条件に以前のチラシを入れたり、次の条件を入れたりを何度も繰り返すと補正できると思う。（川口委員）

A：今回作成する際には、複数のAIを交互に利用して作成した。

Q：条件を入れ直すことを繰り返しながら修正することや、AIは文字を絵として表現すると崩れてしまうので構成と絵とバランスを考えて作成できると思う。（川口委員）

Q：日本語教室のチラシについては、様々な国の方がいらっしゃるので、二次元コードでたくさんの言語を用意できるとよいと思う（下尾委員）

Q：これからさらにAIを活用して修正することで、より良いチラシができると思う。（角田委員）

Q：一度、AIを活用してチラシを作成する仕組みを作ると、次はもっと質を高められると思う。（川口委員）

Q：外国籍の方に伝わるかどうかは、作成している側はわからないことがあるので実際に当事者の方に見てもらい教えてもらえるとよい。（川口委員）

Q：それでは、スケジュールに沿って進めていただいて3月に完成させてほしい。（角田委員）

Q：半年ごとくらいに新しいAIが出ており全体的には改善されているので、全体のやり方の枠組みを決めてAIの変化に対応しながら活用できるとよいと思う。（川口委員）

Q：ふれんど高津カレンダーの中の「あとでまたお伝えします」の「お」など丁寧語が入るとかえって混乱するのではないか。「伝えます」の方が良いと思う。（大野委員）

Q：チラシ案をよく見るとまだ修正の余地はある。今後進展させてほしい。（角田委員）

## 6 その他

### ・次回の開催日程について

第7回専門部会

日時 令和7年12月12日（金） 13：30～15：30

場所 高津市民館視聴覚室

第8回専門部会

日時 令和8年2月14日（土） 13：30～16：30  
場所 高津市民館視聴覚室

7 閉会